

多彩な視点から 伊豆を学ぶ・知る

2020年7月「地域×大学プラットフォーム」の伊豆地域の拠点として立ち上がった静岡大学東部サテライト。地域の学びの場として、自然科学・人文社会科学・文学・福祉といったあらゆる分野から伊豆について学ぶ公開講座を開催します。

5/16
(月)

火山がつくった
中伊豆の大地



Masato Koyama

7/19
(火)

伊豆の地域学習
とジオパーク



Ryuta Yamamoto

9/6
(火)

伊豆半島
における
土砂災害



Fumitashi Imaizumi

10/25
(火)

伊豆から考える
地域の文学文化



Seiji Konita

2/7
(火)

伊豆の地域福祉
のあり方



Chihiro Uchiyama

時間:18時~19時30分
会場:静岡大学東部サテライト
(伊豆市青羽根65)
※オンライン配信あり
受講料:400円

5/16 mon

小山 真人

プロフィール

理学博士。静岡大学助手、同大助教授などを経て2001年から同大教授。同大未来社会デザイン機構・副機構長、同大防災総合センター・副センター長。専門は地質学、火山学、自然災害学など。富士山火山防災対策協議会委員、伊豆東部火山群防災協議会委員、伊豆半島ジオパーク推進協議会顧問などを務める。

火山がつくった中伊豆の大地
かつての伊豆半島は日本列島から遠く離れた南洋の海底火山群でした。その後、プレート運動とともに北上して本州に衝突・陸化し、現在の形となりました。そうした伊豆のおいたちを各所に見られる地形や地質から読み解くとともに、とくに中伊豆地域の大地の特徴と、それがもたらす恵みや価値についても解説します。

7/19 tue

山本 隆太

プロフィール

1982年愛知県出身。早稲田大学助手、静岡大学学術研究員、特任准教授を経て2020年10月より現職。専門は地理教育、地理学。日本やドイツの地理教育・地理学の動向を踏まえ、持続可能な社会づくりに向けた環境教育、SDGs教育を研究。

伊豆の地域学習とジオパーク

少子高齢化が進む地域では子どもたちや若者の郷土意識の醸成が教育上の関心事となっています。小・中学校では、地域のことを学ぶ地域学習が盛んに行われ、そこでは地元の教育委員会等がつくる「のびゆく田方」などの副読本が用いられてきました。本講座では、地元の副読本を振り返りながら地域の移り変わりの様子を感じつつ、これからの持続可能な社会づくりの地域教育について考えていきます。

9/6 tue

今泉 文寿

プロフィール

2004年岐阜大学大学院修了、博士（農学）。京都大学研究員、筑波大学助手、助教、静岡大学准教授を経て2020年から同大教授。農学部生物資源科学科、防災総合センター所属。専門は砂防学。

伊豆半島における土砂災害

伊豆半島は脆弱な地質や山裾まで居住域が広がる地域性、度重なる地震や豪雨の影響により、狩野川台風や熱海土石流災害、伊豆大島近海地震など、過去に幾度も大規模な土砂災害が発生しています。いつどこで土砂災害が発生し、何に気を付けなければならないのでしょうか。これまでに伊豆半島でおきた大規模な土砂災害について紹介するとともに、土砂災害を防ぐために必要な対策について説明します。

10/25 tue

小二田 誠二

プロフィール

静岡大学人文社会科学部言語文化学科教授 地域創造学環副担当。おもな研究分野は江戸時代から明治初期のメディアと表現。静岡在住30年を超え、学際科目や地域文化の授業を担当することも多く、少しずつ静岡の文化が面白くなってきています。

伊豆から考える地域の文学文化

中伊豆が日本近代文学にとって重要な場所であるのは周知の事実ですが、それは、東京から訪れる文人がいた温泉場だったことが主な要因です。古典を含め、「地方文学」と呼ばれる作品の殆どが、同じように中央の視点で描かれた地方、と言う構図を持っています。しかし、例えば井上靖は湯ヶ島で生まれ育ち、そこを舞台にした作品を残しました。この違いを入り口にしながら「在地」と言うことを改めて考えてみましょう。

2/7 tue

内山 智尋

プロフィール

静岡県東部出身。専門は地域福祉、国際協力、中国社会保障など。JICA（国際協力機構）や国際 NGO で長年にわたり中国で様々なプロジェクトにかかわる。日本福祉大学の非常勤講師や名古屋市役所での勤務を経て、2022年1月より静岡大学未来社会デザイン機構講師、東部サテライト専任。

伊豆の地域福祉のあり方

福祉の課題は全国共通、そんな中、工夫を凝らした地域福祉活動が各地で行われています。伊豆地域の実態や活動事例等に触れながら、観光やまちづくりなどの視点と融合させた「福祉コミュニティ」のあり方について考えます。

受講料

400円（受講回数、対面・オンライン問わず400円、後日振込用紙を送付いたします。※振込手数料は受講者負担とさせていただきます。）

申込方法

電話・FAX・インターネットのいずれかによりお申し込みください（先着順、対面20名、オンライン90名）。

電話：0558-79-3500（平日10:00～16:00）

FAX：0558-79-3201

※氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、年齢、電話番号、参加を希望する回を明記ください。

※インターネットでの申し込みは下記QRコードにてお申込みください。

※オンライン受講を希望される方には、開催日前にメールにて視聴情報を案内します。



申込期間

4月1日（金）～5月10日（火）

対面での参加の際には、マスクの着用をお願いするとともに、少しでも体調が悪いと感じられた場合は当日の参加を控えていただき、可能であればキャンセルのご連絡をお願いいたします。